

あけまして おめでとうございます！

昨年の概算要求の段階で、厚生労働省は1施設当たり年間152万8000円だった学童保育の補助単価を、150万5000円に引き下げてしまいました。人事院勧告に合わせた措置という話ですが、1施設当たりの国庫支出額は、例えば保育園に比べるとその40分の1にも満たない額です。それをさらに引き下げるといいますから、どこが少子化対策なのか、法制化しておきながら学童保育を充実させるつもりがあるのか、実に疑問に思っています。

こうした国の貧困な学童保育施策が根底にあって、割合では少数とはなったものの全国的には一定数を占めている親たちが共同運営する民間の学童保育では、どこも運営は火の車で、親たちは月1万5000円から2万円、場合によってはそれを超える保育料の上に、バザーや物品販売など多くの負担を余儀なくされています。

多摩地域では、公設公営あるいは公設社協委託がほとんどを占めているので、そこではこうした運営上の困難を親たちが背負うことはないのですが、運営費に占める市町村の一般会計からの支出が6割から7割というのが一般的で、これを負担と考え削減すべきとする議論は根強くあります。多摩地域では、80人、90人、さらには100人を超える大規模学童も珍しくはなくなりましたが、新増設によってこれを適正な規模に解消することもなかなか進んでいません。進んでいるのは指導員の嘱託化ばかりで、これに加え、いくつかの自治体では民間委託が提起されています。「全児童対策」への解消の動きも見られます。「経費削減」の議論ばかりが先行しているのが、残念ながら実態と言わざるを得ません。

しかし、行政ばかりに問題があるわけでもありません。私たち親や指導員が、どれだけ内容のある学童保育をつくりあげているか、どれだけ市民の理解を得ているかが同時に問われています。

あと、1ヶ月弱で第15回三多摩学童保育研究集会です。多くの地域からの多くの親と指導員の参加で、この集会をぜひ成功させ、私達自身の力量を高めていきたいものです。

今年もよろしくお願ひいたします。

第5回運営委員会を以下開催いたします！

日時:2003年1月19日(日)13:30～

場所:小金井市上之原会館AB会議室(地図は下)

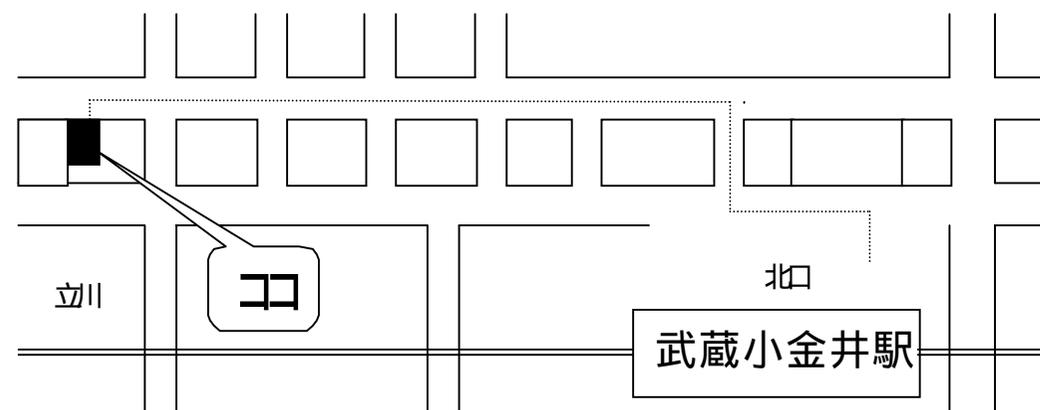
議題:(1)各地域、事務局からの報告

(2)第15回三多摩研究集会

(3)その他

民間委託の動きに関する資料(「〇〇検討委員会」なども含む)が

ありましたら、是非ご持参ください！



武蔵小金井駅北口・徒歩約10分、上之原公園手前

電話 042 381 9911

第2回保育誌担当者会議を開催いたします！

日時:2003年1月19日(日)10:00～

場所:小金井市上之原会館AB会議室(地図は上)

内容:(1)年度切り替え時の対策について

(2)還元金について

(3)交流

担当者がいない連協も、会長さん等代理の方がご出席ください！